



卓 話

「宇宙教育について—宇宙が 子どもたちの心に火をつける—」

宇宙航空研究開発機構宇宙教育センター主査 中村 全宏氏

JAXA宇宙教育センターの中村です。本日は貴重なお時間をいただきまして、改めて感謝申し上げます。我々JAXA（宇宙航空研究開発機構）と宇宙教育についての紹介をお話させていただきます。



JAXAにつきましては、簡単に申し上げますと「米国のNASA、日本のJAXA」ということで、日本の宇宙航空分野の研究開発を行っている機関で、日本人宇宙飛行士もJAXAの職員ですし、日本でロケットの打ち上げを行っている種子島宇宙センターもJAXAの施設です、とお話すればご理解いただけるかと思えます。最近では、月探査機「かぐや」が撮影したハイビジョン映像での月から昇る「満地球の出」や国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」のことを知っていらっしゃる方も多いことでしょう。

JAXAについて詳しくは、JAXAのウェブサイト、<http://www.jaxa.jp/>（“jaxa”で検索）をご参照ください。

では宇宙教育についてご紹介したいと思います。簡潔に表現するにはどうすればいいかと思いましたが、当センターのパンフレットから、その一端をご紹介させていただきます。

日本各地を駆け回りながら、宇宙の教育活動を通して常に実感するのは、子どもたちは生身の自然や生き物が大好きだということです。中でも、宇宙の謎は彼らの好奇心や想像力をかきたて、人類の宇宙への挑戦過程は冒険心を刺激するのです。子どもたちの強い好奇心や冒険心を拠点に、その秘密を解き明かすための科学へと深い関心が向くように導きたい。そのために、我々の宇宙探求や宇宙開発で得られた知識や技術、宇宙に対する内発的な想いを総動員していく。そこに、宇宙教育センターがこれからの日本を担う子どもたちのために働く意味があると思うのです。

我々は、“好奇心”と“冒険心”の他にもう1つ、

子どもたちの人生を輝かせて行くために大事なものがあると考えています。それは、好奇心や冒険心の対象へとたどり着くための「何かを作る」という“匠の心”です。これら3つの心は子どもたち誰もが持っているもの。その心にいったん火がつけば、大人が手助けせずとも自らその探求心を駆使して知識や経験の輪を広げていきます。この最初のきっかけ作りを大切にしたいと考えます。そして、その礎に“いのちの大切さ”があってこそ、これからの国づくり・未来を担う大きな力となっていくのではないかと考えるのです。

★宇宙教育センターの活動の柱

センターの設立当初から、柱に据えている活動が2つあります。1つは、実際の教育現場・学校と一緒に行う活動「学校教育支援活動」です。JAXAは、宇宙や宇宙活動の成果が内包する魅力的で豊富な素材を、先生方のニーズに合わせてさまざまに加工し解釈し展開させる役目に徹します。宇宙をテーマにした総合的な学習は、理科だけでなく社会科や音楽、家庭科など、様々なアプローチが可能です。これまで、素晴らしい現場の先生方との共同作業により、一つ一つの支援活動が今後の活動に向けて貴重な教訓を生み出しています。このような経験に基づいてさらに輪をひろげ、先生方にとってもJAXAにとっても新しい発見があり、ともに育っていけるような連携の形を目指していきます。2つ目は、「社会教育支援活動」です。小・中・高校生を対象に、それぞれの年代に応じた段階的学習プログラムにより、JAXA独自の授業を行います。また、全国各地でJAXAとともに宇宙教育活動を行っていただける指導者の育成・支援を行います。

そして、最後にこの2つの柱と同じくらい力を入れているのが、世界の子どもたちへの発信です。宇宙教育を取り上げた様々な国際会議や国際機関の活動に参加し、教育センターの活動や教材を紹介するとともに、特に途上国で宇宙教育活動を進めるための連携を各国各機関と進めています。

★“連携”こそ教育支援の力

現在の日本では、「教育」の2字が普遍的なものに成長しつつあります。社会と子どもたちの未来に言い知れぬ不安を抱く人々が、続々と問題意識を共有するようになってきました。こうして各地で、各組

織で、各分野で、それぞれの教育活動が旺盛に展開されています。

我々は、これまでも述べたとおり、教育現場と連携して教育プログラムを開発することを活動の柱に据えますが、そのためには、教育委員会や大学、青少年育成団体、科学館・博物館などの教育関連機関が持つ多様で広範囲な教育機会を共有しながら、連携によって新たな教育機会を創り出していくことも重要です。同時に、宇宙活動がもつ広範なターゲットは、生命、素粒子、地球、環境、技術などの分野のみならず、文明や芸術・スポーツの分野にいたるまで幅広い関連領域におよびます。そして、子どもたちの宇宙へのアプローチは、まさにこうした多彩な動機をもってなされるものなのです。このような様々な分野の研究機関と、知識を共有し実践面での連携を打ち立てることが、宇宙教育センターの非常に大切な仕事になるだろうことは明らかです。

こうした多重性を持つ関係プレーの核となる活動を通じて、子どもたちの心身の包括的な育成を可能とする総合的な教育支援組織を作りたいと考えています。

(JAXA宇宙教育センターパンフレットより抜粋)
JAXA宇宙教育センターについて詳しくは、以下のウェブサイトアクセスください。

<http://edu.jaxa.jp> (“宇宙教育”で検索)
また、もしさらに宇宙教育について知りたい、連携協力したいなど、何かございましたら、いつでも下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

JAXA宇宙教育センター
〒229-8510 神奈川県相模原市由野台3-1-1
TEL : 042-759-8585 FAX : 042-759-8612
Mail : edu@jaxa.jp

すでに、東京の立川では、立川こぶしロータリークラブと宇宙教育の連携活動が始まっています。